

副学長・学長特別補佐の選任理由

(副学長)

氏 名	求める人材	選 任 理 由
松崎 貴 R6. 4. 1～	大学の教育研究 (特に教育・学生 支援)に精通して いる	教育研究評議会評議員，地域未来協創本部長等の重要な役職を歴任するなど，豊富な知識と経験を有している。また，令和 3 年 4 月からは副学長（地域協創担当）を務めており，副学長（教育・学生支援担当）として貢献できる人物と判断し，選任した。
金山 富美 R6. 4. 1～	大学の教育研究 (特にハラスメント対策)に精通 している	学長特別補佐（ハラスメント対策担当），教育研究評議会評議員等の重要な役職を歴任するなど，豊富な知識と経験を有している。また，令和 2 年 4 月からは副学長（ハラスメント対策担当），令和 3 年 4 月からは副学長（ハラスメント防止・対策担当）を務めており，引き続き副学長（ハラスメント対策担当）として貢献できる人物と判断し，選任した。
片岡 佳美 R6. 4. 1～	大学の教育研究 (特にグローバル化推進)に精通 している	教育研究評議会評議員，法文学部副学部長等の重要な役職を歴任するなど，豊富な知識と経験を有しており，新たに副学長（グローバル化推進担当）として貢献できる人物と判断し，選任した。
齋藤 文紀 R6. 4. 1～	大学の教育研究 (特に研究推進) に精通している	国立研究開発法人産業技術総合研究所において卓越した研究を行い，本学においてはエスチュアリー研究センター長，学長特別補佐（大学院博士課程・特命事項担当）の重要な役職を歴任するなど，豊富な知識と経験を有しており，新たに副学長（研究推進担当）として貢献できる人物と判断し，選任した。
高橋 哲也 R6. 4. 1～	大学の教育研究 (特に地域協創) に精通している	教育研究評議会評議員，教育学部副学部長，人間科学部副学部長等の重要な役職を歴任するなど，豊富な知識と経験を有しており，新たに副学長（地域協創担当）として貢献できる人物と判断し，選任した。
松本 真悟 R7. 4. 1～	大学の教育研究 (特に産学連携・イノベーション)に精通 している	教育研究評議会評議員，生物資源科学部附属生物資源教育研究センター長等の重要な役職を歴任するなど，豊富な知識と経験を有しており，新たに副学長（産学連携・イノベーション担当）として貢献できる人物と判断し，選任した。
河野 美江 R6. 4. 1～	大学の教育研究 (特に SDGs・ダイバーシティ)に精 通している	平成 30 年 4 月から学長特別補佐（男女共同参画担当）の重要な役職を歴任するなど，豊富な知識と経験を有している。また，令和 5 年 4 月からは副学長（ダイバーシティ推進担当）を務めており，副学長（SDGs・ダイバーシティ担当）として貢献できる人物と判断し，選任した。

小俣 光司 R6. 4. 1～	大学の教育研究 （特にクロス教育推進）に精通している	教育研究評議会評議員，総合理工学部副学部長，地域未来協創本部副本部長等の重要な役職を歴任するなど，豊富な知識と経験を有しており，新たに副学長（クロス教育推進担当（特命））として貢献できる人物と判断し，選任した。
三浦 英生 R6. 4. 1～	大学の教育研究 （特にマテリアル研究）に精通している	東北大学において，材料強度科学を専門分野として大型の科学研究費補助金を多数獲得している他，「原子配列の秩序性に基づく材料劣化損傷に関する研究」で顕著な成果を収めたとして科学技術分野の文部科学大臣表彰を受賞するなど，材料科学分野において卓越した研究業績を有している。 また，令和6年1月から副学長（マテリアル研究担当），先端マテリアル研究開発協創機構長を務めており，組織運営・管理に関する豊富な知識と経験を有していることから，引き続き副学長（マテリアル研究担当（特命））として貢献できる人物と判断し，選任した。
鬼形 和道 R6. 4. 1～	大学の教育研究 （特に地域協創（出雲キャンパス・県西部））に精通している	医学部長，医学部附属病院副病院長等の重要な役職を歴任するなど，豊富な知識と経験を有しており，新たに副学長（地域協創（出雲キャンパス・県西部）担当（特命））として貢献できる人物と判断し，選任した。

(学長特別補佐)

氏 名	求める人材	選 任 理 由
松本 一郎 R6. 4. 1～	大学の教育研究 (特に SDGs)に精通している	令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月まで学長特別補佐(SDGs 担当)を務めるなど、豊富な知識と経験を有しており、学長特別補佐 (SDGs 担当) として貢献できる人物と判断し、選任した。
黒岩 大史 R6. 4. 1～	大学の教育研究 (特に DX 推進)に精通している	総合理工学部副学部長, 数理・データサイエンス教育研究センター長等の重要な役職を歴任するなど、豊富な知識と経験を有しており、新たに学長特別補佐 (DX 推進担当) として貢献できる人物と判断し、選任した。
浦野 健 R6. 4. 1～	大学の教育研究 (特に医学研究)に精通している	学長特別補佐 (研究戦略担当), 総合科学研究支援センター長等の重要な役職を歴任するなど、豊富な知識と経験を有しており、新たに学長特別補佐 (医学研究担当) として貢献できる人物と判断し、選任した。
岩下 義明 R6. 4. 1～	大学の教育研究 (特に大学魅力化コーディネート)に精通している	医学部附属病院救命救急センター長の重要な役職を務めるなど、豊富な知識と経験を有しており、新たに学長特別補佐 (大学魅力化コーディネート担当) として貢献できる人物と判断し、選任した。
飯野 公央 R7. 4. 1～	大学の教育研究 (特に学生支援)に精通している	法文学部副学部長の重要な役職を務めるなど、豊富な知識と経験を有しており、新たに学長特別補佐 (学生支援担当) として貢献できる人物と判断し、選任した。
平野 章二 R6. 4. 1～	大学の教育研究 (特に出雲キャンパス情報システム管理)に精通している	平成 24 年 10 月から学長特別補佐 (I T 推進担当) 等の重要な役職を歴任するなど、豊富な知識と経験を有しており、学長特別補佐 (出雲キャンパス情報システム管理担当) として貢献できる人物と判断し、選任した。
太田 史朗 R6. 4. 1～	大学の教育研究 (特に地域連携)に精通している	島根県商工労働部長, 政策企画局長等の重要な役職を歴任するなど、地域における人づくりや地域産業界に精通し、かつ組織運営・管理に関する豊富な知識と経験を有している。また、令和 5 年 4 月から学長特別補佐 (地域連携担当) を務めていることから、引き続き学長特別補佐 (地域連携担当) として貢献できる人物と判断し、選任した。